

## プログラム

9:15～	受付開始
9:50～	開会式
10:00～	大会長講演「終末期に対応するリハビリテーションとケア」 福田 卓民（青梅慶友病院）
10:30～	特別講演「関節拘縮に対する治療戦略—終末期までの対応」 沖田 実（長崎大学大学院 教授）
	司会：吉際 俊明（青梅慶友病院）
11:50～	休憩
12:00～	症例・事例検討 ①「家族が主体となって行った看取り期の食支援についての一考察」 川端 恵里（けま喜楽苑） ②「維持～終末期の大腿骨頸部骨折保存療法へのかかわり」 白木 美代子（救世軍清瀬病院） ③「訪問リハビリテーションの目標設定に難渋した転移性骨腫瘍の一症例」 黒部 洋輔（渡辺病院） ④「認知症診断後の家族心理教育が、終末期の意志決定の一助となった一事例」 扇澤 史子（東京都健康長寿医療センター）
	司会：鈴木 孝治（藤田保健衛生大学）
12:30～	休憩

13:30～	<p>研究・調査報告</p> <p>①「歩行運動は拘縮の予防対策として有効である ー拘縮の実験動物モデルを用いた検討」 本田 祐一郎（長崎大学病院）</p> <p>②「多職種による重度要介護高齢者に対する活動性向上の取り組み」 齋藤 ひかる（青梅慶友病院）</p> <p>③「重篤な関節可動域制限を呈した障害高齢者に対する ベルト式骨格筋電極刺激法（B-SES）の即時効果の検証」 中島 駿平（長崎記念病院）</p> <p>④「回復期病棟でのターミナルケアを考えるための意識調査ー老健と比較して」 中垣 亮（輝山会記念病院）</p> <p style="text-align: right;">司会：壹岐 英正（渡辺病院）</p>
14:00～	<p>シンポジウム「終末期における専門的介入」</p> <p>リハビリテーション分野 「終末期における作業療法」 守口 恭子（健康科学大学 名誉教授）</p> <p>介護分野 「終末期におけるケア ～安楽な姿勢から見えてくるもの～」 天野 ゆかり（静岡県立大学短期大学部 助教）</p> <p>レクリエーション分野 「福祉レクリエーションという領域から終末期のケアをみる ～個々の日常にある「楽しさ」に注目して～」 小池 和幸（仙台大学 教授）</p> <p style="text-align: right;">司会：山下 由香（東太田リハビリ訪問看護ステーション）</p>
15:20～	<p>休憩</p>
15:30～	<p>特別対談「終をみすえて」</p> <p>大田 仁史（茨城県立健康プラザ 管理者） 黒川 由紀子（上智大学 教授）</p> <p style="text-align: right;">司会：福田 卓民（青梅慶友病院）</p>
16:30～	<p>閉会式</p>